

北 浦 広 報

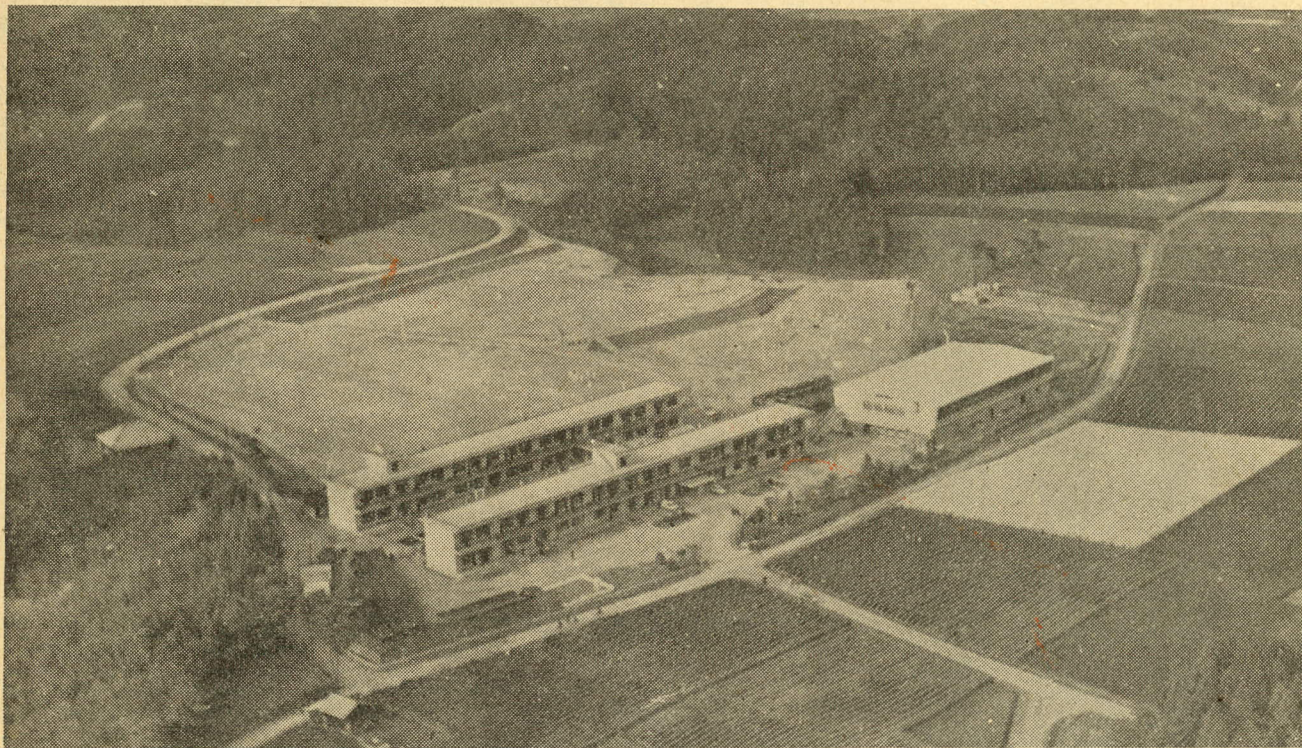
第 7 7 号

発行所 北浦村役場
北浦村大字山田
発行人
北浦村長 高柳庄次郎

男 5,843
女 6,280
計 12,123
世帯数 2,241

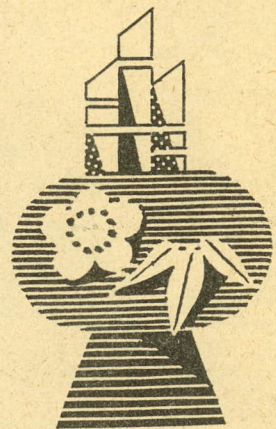
一人前の血 は何升か

人間一人の血液量は人によって違うが、健康な日本人（成人）で大体、五升合（五リットル）が標準です。これを自分の重さ（体重）に直せば、一貫目（約30グラム）あたり、自分の重さの十二分の一が血の重さだと思えばよい。だから十三貫目の人ならば、一貫目だけが血の重さである。



北 浦 中 学 校 上方は国際電電北浦受信所を予定される山林一帯

謹賀新年



賀 正

北浦村長

高柳庄次郎



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昭和四十年、そして一九六五年と数字の上でも区切りのよい向か飛躍発展を思わせる希望のもてる年という予感をおぼえるものがこぼれます。

この用地買収計画については、敷地買収のため去る十月十四日の地主会において、全員の御承諾をいただきました。多大の犠牲をのびられて、協力下さった地主各位、ならびにこの事業に関係された各位の絶大なご努力に深く感謝の意を表する次第です。

補正予算など可決

六百九十九万五千円を

村議会では、第四回例会議を十一月十七日（開き、五件の議案を原案より可決しました。主な内容は次のとおりです。

▼専決処分報告について
これは「北浦村トラック利用規程」を制定の報告です。

▼職員退職手当組合規約の一部改正について
このことは、組合へ納付する負担金の率が「千分の五十」から、「千分の六十五」になり、名称の一部を改めたものです。

▼村道認定について
これは道路法の規定により、認定するもので、今回次の路線が新しく村道の認定をされました。

①水無間宿線、一七・五、②行戸界道、九〇・八、③武田坂道、二〇〇・四、④堀付坂道、三六・五、⑤下池道、七五・四、⑥並松

この施設誘致は中学校の環境が、総合児童小学校に収容され整備と、茨城県の大きな施設である鹿嶋開発に参加協力すること、更に施設費十億余円という、村の財政の強化に大きな期待をもつて計画されたものであります。

この誘致計画の成否が北浦村の開発基盤となる重大なものであることは勿論です。この事業の完成によって、果ては、中央機関よりの信頼と本村に対する関心が高くなりました。このことは今後の地方自治行政を進展させる上に多大の成果と喜ぶものであります。

さらに、キリスト教三育学院の誘致を進め、敷地約二万坪を風光明媚な成田台地に決定をみました。

この用地買収計画については、村の協力を要するものであります。北浦村の発展と繁栄に努力してまいりたいと存じますので、村民各位の絶大な御支援と御理解をお願いするものであります。

また、第二期工事の竣工をまつ、津海学区の小学児童全員、お祈りいたしまして新年のご挨拶といたします。

村議会では、第四回例会議を十一月十七日（開き、五件の議案を原案より可決しました。主な内容は次のとおりです。

鹿行と本村の将来

県政教室を開く

去る十一月十五日、役場会議室において、本村で最初の「県政教室」が開かれました。

これは、県と村の共働により、開かれたもので、新村建設協議会委員を対象に開催されました。

当日の題目は、「鹿行地域の将来」と、「北浦村の将来」であり、講師には、鹿行振興事務所長と村長が、それぞれ担当して進められました。

国際電電の受信所敷地

地主会で承諾をう

村では、国際電電の受信所を誘致するため山田台地の約七十畝に候補地を求め、関係地主四十四名と買収交渉を進めていたが、十二月十四日地主会の総会を開いて、全員が買収承諾書を村長に提出され、いよいよ受信所設置の実現が確実となりました。

この地主会は、去る九月一日に招集人会を設けて準備し、村の希望する区域約七十畝（約七十町歩）を所有する四十四名の地主が構成したもので、会長に宮本幸雄氏（現村議員）を選任し、村、県、国、国際電電などと交渉にあたりたいもので、全員が誘致の趣旨を理解され、協力を示し、感謝されております。

①総務費三百五十万円、②民生費九百八十八万円、③衛生費九百九十四万円、④農林水産費六十三万七千円、⑤土木費百五十五万五千円、⑥消防費二百八十八万円、⑦教育費六十四万四千円、です。

この中に大きなものでは、国際電電用地測量補助七十万円、役場敷地拡張費百一十五万円、国民年金印刷紙代百万円、緊急飼料作物増産対策事業補助三十一万六千円、国、県道の改修補修の負担金九十六万五千円などがあります。

学校では小貫小の拡張土地代四十八万円が計ります。

▼特別会計補正予算について
これは国民健康保険の予算であり、今回五万円を追加し、総額を三千七十六万二千円としたもので、支出では全額償還に当てられています。

進められることになりました。

この開発によって、鹿行地域は三つのゾーンに分けられ、それぞれ特色のある町づくりが進んでいくこととなります。

①餅田玉造を中心とした北部、旭、餅田、大津、北浦、玉造を含む地区で、主な目標は行政、教育の中心、農業、内陸工業です。

②沼床麻生を中心とした中部、沼床、牛堀、麻生を含む地区で、目標を商業、観光、文教都市におきます。

賀 正

昭和四十年元旦

議会議長

出久根 保

議会議員 一同

助 役

勢司 治雄

収入役

山崎 武雄

役場総務課 一同

企画室 一同

村民課 一同

建設課 一同

保険課 一同

産業課 一同

税務課 一同

出納室 一同

農業委員長 椎名 重

農業委員 一同

教育委員長 海老沢 金司

教育委員 一同

事務局 一同

土浦放送局

1月20日開局

1560 サイクルです

